

助成制度を活用した

マンション断熱改修事例報告

1960年以降の「マンションブーム」以降、日本には大量の分譲マンションが建てられ、現材のストック数は約694万戸にも上るといふ。当然、高経年のマンションも増加しており、その維持保全が図られているが、その場合、維持だけでなく、時代の変化に対応した機能向上も求められてくる。またそうした改修には多額の費用が掛かることになるが、近年は省エネを中心とした改修工事への公的な助成制度も多く、それらの助成を活用することも、マンションの価値向上には欠かせない要素になる。

ここでは、公団が分譲した築28年のマンションの第2回大規模修繕における、国交省「長期優良化リフォーム推進事業」助成制度を活用した断熱改修について、詳細をレポートする。

編集部

多摩ニュータウンM団地の外断熱化改修事例

(有)共同設計・五月社一級建築士事務所
代表取締役

三木 剛

— 36 —

